

島根益田信用組合の経営内容と地域貢献活動について（22年9月末 現在）
 《平成22年度上期の業績と仮決算》

島根益田信用組合

1. 業績について

	22年3月末	22年9月末	増減額(増減率)
預金残高	21,219 百万円	24,480 百万円	3,261 百万円(15.3%)
うち個人定期	12,666 百万円	12,721 百万円	55 百万円(0.4%)
貸出金残高	16,042 百万円	16,195 百万円	153 百万円(0.9%)
うち事業性	9,957 百万円	9,850 百万円	△107 百万円(△1.0%)

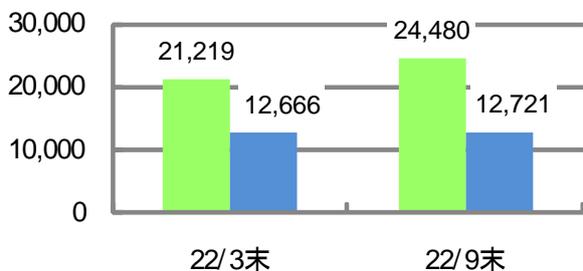
預金残高は、平成22年3月末21,219百万円から3,261百万円増加し、平成22年9月末24,480百万円となりました。

地域のお客様からの信頼、信用のバロメーターともいえるべき個人定期は、平成22年3月末12,666百万円から55百万円増加し、平成22年9月末12,721百万円となりました。

貸出金残高については、景気対策の一環としての緊急保証制度(国・県)について、地域経済を支えている中小企業の皆様の資金繰りの円滑化を図るべく積極的な取り組みを行い、平成22年3月末16,042百万円から153百万円増加し、平成22年9月末16,195百万円となりました。

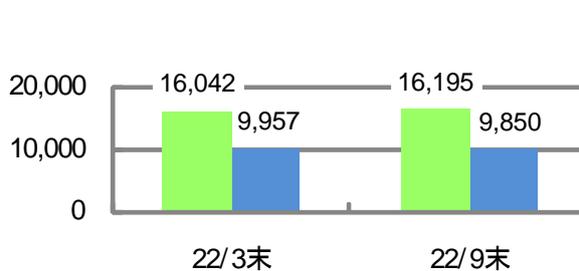
預金残高の推移(単位:百万円)

■ 預金 ■ 個人定期



貸出金残高の推移(単位:百万円)

■ 貸出金 ■ 事業性



<緊急保証制度(国・県)の取り組み実績>

単位:件、百万円

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		上期計	
		件数	金額	件数	金額										
製造業	21年	1	4	1	5	2	33			1	15	1	12	6	70
	22年	1	10	2	40			2	9			2	4	7	64
建設業	21年	1	20	4	78	4	33	5	116	2	43	6	62	22	352
	22年			1	2	5	126	5	163			6	93	17	385
小売業	21年	4	48	2	5	4	52	6	81	3	31	4	40	23	258
	22年	4	34	3	16	2	29	1	1			2	42	12	124
飲食業	21年			1	10	1	10	2	10	3	43			7	73
	22年	2	7					1	10					3	17
サービス業	21年	8	45	7	56	1	8	3	18	2	10	2	17	23	154
	22年	3	17	2	6	1	13	6	33	2	90	2	35	16	195
その他	21年	2	40					1	10					3	50
	22年			1	8	1	4	2	27					4	40
計	21年	16	157	15	154	12	136	17	235	11	143	13	131	84	959
	22年	10	68	9	73	9	173	17	245	2	90	12	175	59	827

2. 自己資本比率について

島根益田信用組合の自己資本比率は、平成 22 年 3 月期の 15.62%と同水準の 15.62%となり、国内で業務を行う金融機関の基準(※1.早期是正措置の概要参照)である 4%の約 4 倍という高い水準を維持しているのみならず、大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である 8%をも上回る高い水準となっており、健全な経営内容を誇っています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本総額 (Tier I 1,605百万円 + Tier II 66百万円)}}{\text{リスク・アセット等(注) 10,705 百万円}} \times 100 = 15.62\%$$

(注)貸出金や有価証券、預け金等、損失が発生する可能性のある資産の総額

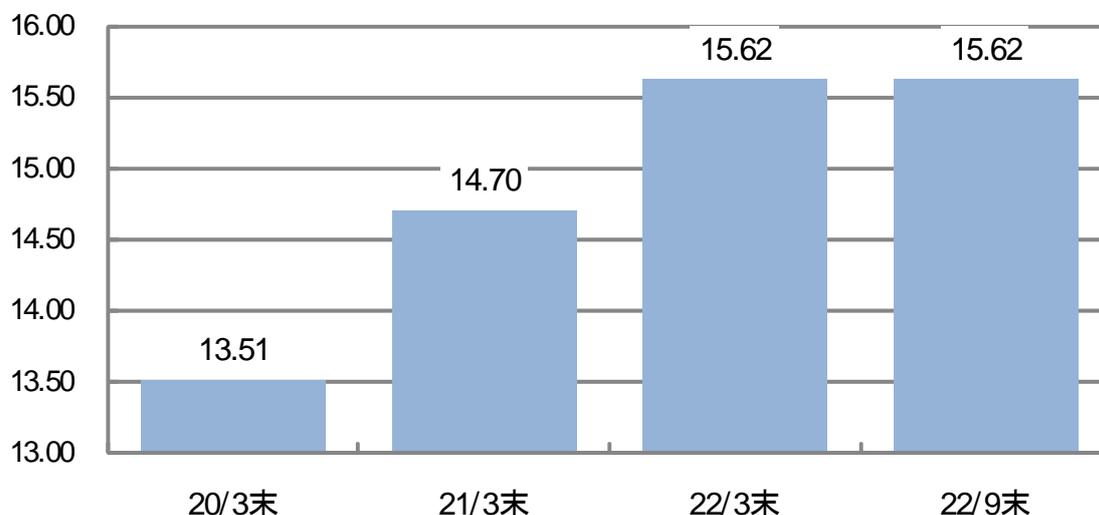
●自己資本総額 (単位:百万円)

●リスク・アセット等 (単位:百万円)

自己資本総額		リスク・アセット等計	
自己資本総額	1,672	リスク・アセット等計	10,705
出資金	221	資産(オン・バランス)項目	9,765
利益準備金	221	オフ・バランス取引等項目	20
特別積立金	1,096	オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	918
次期繰越金	65		
有価証券評価差損	-		
一般貸倒引当金	87		
※補完的項目不算入額	△20		

※補完的項目不参入額△20=87-66 一般貸倒引当金の上限 リスク・アセット等計 10,705 × 0.625% = 66

自己資本比率の推移



<※1. 早期是正措置(銀行法第 26 条第 1 項に基づく命令)の概要>

自己資本比率		是正措置の内容
信用組合等、国内で業務を行う金融機関	大手銀行等、海外で業務を行う金融機関	
4%以上	8%以上	経営体質が健全で問題がない金融機関
2%以上 4%未満	4%以上 8%未満	経営改善計画の作成・実施命令
1%以上 2%未満	2%以上 4%未満	総資産の圧縮、新規業務の禁止等
0%以上 1%未満	0%以上 2%未満	大幅な業務の縮小、合併等の実施命令
0%未満	0%未満	業務の一部・全部の停止命令

3. 債務者区分別貸出先数・貸出金、分類貸出

島根益田信用組合では、厳正に自己査定を実施し、その内容を詳細に分析して、お取引先の実態についての的確に把握するよう努めるとともに、お取引先の経営指導、経営改善にも全力をあげて取り組むことにより、資産の健全性の向上に努めています。

自己査定にあたっては、まず債務者の財務、経営状態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に債務者区分を行います。その結果が次の「債務者区分別先数・貸出金」です。

●債務者区分別先数・貸出金

(単位:先、百万円 単位未満切捨)

		先数	金額(構成比)
正常先	業況が良好で、財務内容にも特段の問題がない先	2,139	6,563(40.5%)
要注意先	今後の管理に注意を要する先	504	6,981(43.1%)
うち要管理先	「貸出条件緩和債権」または「3ヶ月以上延滞債権」を有している先	15	136(0.8%)
破綻懸念先	経営破綻の状況にはないが、経営難の状態にあり、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	41	426(2.6%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	39	177(1.1%)
破綻先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	12	62(0.4%)
国・地方公共団体(回収の危険性がないため、債務者区分を行っていません)		2	1,983(12.3%)
合 計		2,737	16,195(100.0%)

次に、債務者区分毎に、担保・保証等による債権回収の可能性を評価して、貸出金をI分類からIV分類までの4つのランクに分類します。その結果が次の「分類貸出金」です。

●分類貸出金

(単位:百万円 単位未満切捨)

		金額(構成比)
I分類	回収について問題のない貸出金	13,402(82.8%)
II分類	回収について注意を要する貸出金	2,689(16.6%)
III分類	回収について重大な懸念がある貸出金	30(0.2%)
IV分類	回収不能と判定される貸出金	72(0.4%)
合 計		16,195(100.0%)

4. 金融再生法 開示債権及び同債権に対する保全額

島根益田信用組合の金融再生法で定められた開示債権額は、平成22年3月期の748百万円から32百万円増加し、平成22年9月末780百万円となりました。総債権額に占める開示債権額の割合(不良債権比率)については、不良債権額の増加によって、平成22年3月期4.64%から0.17%上昇し、平成22年9月末4.81%となりました。

なお、平成22年9月末の開示債権額780百万円は担保、保証等、引当金による保全額759百万円によって、その債権額の97.30%はカバーされております。

●金融再生法 開示債権

単位：百万円(単位未満切捨、各合計値は千円単位を集計し単位未満を切捨、比率は百万単位で算出)

	21/3 末	22/3 末	増減	22/9 末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	304	246	△ 58	253	7
危険債権	341	392	51	427	35
要管理債権	103	109	6	100	△ 9
開示債権 計 A	749	748	△ 1	780	32
正常債権	15,580	15,370	△210	15,454	84
合 計	16,330	16,119	△211	16,235	116
担保・保証等 B	626	592	△ 34	635	43
貸倒引当金 C	114	132	18	123	△ 9
保全額合計 D=B+C	740	724	△ 16	759	35
担保、保証等、引当金による保全率 D/A	98.79%	96.79%	△2.00%	97.30%	0.51%
貸倒引当金 引当率 C/(A-B)	92.68%	84.61%	△8.07%	84.82%	0.21%
総債権額 E	16,330	16,028	△302	16,235	207
不良債権比率 A/E	4.59%	4.64%	0.05%	4.81%	0.17%

(注)平成22年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
2. 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
3. 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び3ヶ月以上延滞している債権の合計です。

5. 銀行法 リスク管理債権及び同債権に対する保全額

島根益田信用組合の銀行法で定められたリスク管理債権額は、平成 22 年 3 月期の 735 百万円から 32 百万円増加し、平成 22 年 9 月末 767 百万円となりました。貸出金に占めるリスク管理債権額の割合(リスク管理債権比率)については、リスク管理債権額の増加によって、平成 22 年 3 月期 4.58%から 0.15%上昇し、平成 22 年 9 月末 4.73%となりました。

なお、平成 22 年 9 月末のリスク管理債権額 767 百万円は担保、保証等、引当金による保全額 745 百万円によって、その債権額の 97.13%はカバーされております。

●銀行法 リスク管理債権

単位：百万円(単位未満切捨、各合計値は千円単位を集計し単位未満を切捨、比率は百万単位で算出)

	21/3 末	22/3 末	増減	22/9 末	増減
リスク管理債権総額 A	735	735	0	767	32
破綻先債権額	115	80	△ 35	62	△ 18
延滞債権額	516	544	28	604	60
3ヶ月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	103	109	6	100	△ 9
担保・保証等 B	625	591	△ 34	635	44
貸倒引当金 C	101	119	18	110	△ 9
保全額合計 D=B+C	726	711	△ 15	745	34
担保、保証等、引当金による保全率 D/A	98.77%	96.73%	△2.04%	97.13%	0.40%
貸倒引当金 引当率 C/(A-B)	91.81%	82.63%	△9.18%	83.33%	0.70%
貸出金 E	16,244	16,042	△202	16,195	153
リスク管理債権比率 A/E	4.52%	4.58%	0.06%	4.73%	0.15%

6. 金利リスクに関する事項

金利リスクとは、金利変動に伴い損失を被るリスクのことで、当組合では資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下及び損失を被るリスクと定義しています。

当組合はSKC(信組情報サービス株式会社)のALMシステムを使用し金利リスクを計測しており、その算出手法としては、現時点における資産・負債のキャッシュフローを計算し、現時点と金利変動後で計算した現在価値の差額を金利ショック下での現在価値変動額として計算する再評価法を採用しています。

なお、計算方法については、観測期間 5 年、比較営業日 240 日前、99 パーセン・1 パーセントイル値を採用し、コア預金については、要求払預金の過去 5 年間の月末残高を調査し、現在高の 50%相当額を最少の額とし、平均残存期間 2.5 年の毎月均等割で計測しています。

(単位：百万円)

	金利リスク
金利リスクに対する経済的価値の増減額	△538

7. 主要な経営諸指標

資産・負債及び組員勘定

単位:千円

(資産の部)	21年9月末	22年9月末	(負債の部)	21年9月末	22年9月末
現金	338,258	350,149	預金積金	22,686,112	24,480,975
預け金	5,953,172	7,755,633	当座預金	241,235	220,535
有価証券	2,002,857	1,625,998	普通預金	6,150,404	6,834,959
国債	502,810	425,357	貯蓄預金	73,095	72,666
地方債			通知預金	14,600	562,000
短期社債			定期預金	15,023,574	15,623,753
社債	1,200,531	1,027,371	定期積金	1,153,441	1,141,678
株式	55,306	75,058	その他の預金	29,760	25,382
その他の証券	244,210	98,212	借入金		
貸出金	15,704,787	16,195,075	その他の負債	118,978	106,575
割引手形	84,858	60,855	賞与引当金	9,899	9,089
手形貸付	293,585	264,095	退職給付引当金	87,854	80,467
証書貸付	13,525,290	14,072,694	役員退職慰労引当金	15,294	14,218
当座貸越	1,801,053	1,797,429	その他の引当金	637	2,727
その他資産	356,844	334,386	債務保証	43,261	27,354
有形固定資産	212,083	188,867	負債の部合計	22,962,038	24,721,409
無形固定資産	5,360	5,242			
繰延税金資産	86,264	62,346	(純資産の部)		
債務保証見返	43,261	27,354	出資金	220,671	221,983
貸倒引当金	△ 194,753	△ 203,907	利益剰余金	1,337,324	1,383,478
(うち一般貸倒引当金)	(△ 87,814)	(△ 87,178)	評価・換算差額等	△ 11,897	14,277
(うち個別貸倒引当金)	(△ 106,939)	(△ 116,729)	純資産の部合計	1,546,098	1,619,739
資産の部合計	24,508,136	26,341,148	負債及び純資産の部合計	24,508,136	26,341,148

損益

単位:千円

科目	21年9月末	22年9月末
経常収益	339,976	309,117
業務収益	323,269	308,861
資金運用収益	304,546	289,917
(うち貸出金利息)	(259,049)	(245,357)
役員取引等収益	13,263	14,318
その他業務収益	5,458	4,624
臨時収益	16,707	256
経常費用	288,597	256,250
業務費用	279,614	254,197
資金調達費用	29,697	21,036
(うち預金利息)	(29,679)	(20,958)
役員取引等費用	35,644	31,266
一般貸倒引当金繰入額	5,558	-
経費	208,714	201,623
臨時費用	8,983	2,052
経常利益	51,379	52,867
業務純益	43,654	54,663
コア業務純益	44,029	50,362
特別利益	518	10,343
特別損失	277	24
税引前当期純利益	51,619	63,186
法人税、住民税及び事業税	9,403	9,399
法人税等調整額	6,328	9,910
当期(中間)純利益	35,887	43,876

経営指標

単位:百万円

	21年9月末	22年9月末
経常収益	339	309
業務純益	43	54
経常利益	51	52
当期(中間)純利益	35	43
預金積金残高	22,686	24,480
貸出金残高	15,704	16,195
有価証券残高	2,002	1,625
総資産額	24,508	26,341
純資産額	1,546	1,619
自己資本比率	15.47%	15.62%
出資金	220	221
出資総口数	441,343口	443,966口
役員員数	51人	52人

諸利回・諸比率

	21年9月末	22年9月末
資金運用利回	2.53%	2.29%
貸出金利回	3.31%	3.11%
預け金利回	0.85%	0.73%
有価証券利回	1.52%	1.56%
資金調達原価率	2.09%	1.85%
預金利回	0.26%	0.17%
総資金利鞘	0.44%	0.44%
預貸率 (末残)	69.22%	66.15%
(平残)	68.73%	65.64%
預証率 (末残)	8.82%	6.64%
(平残)	8.89%	6.64%

有価証券の評価

項目		取得価格または契約価格	時価	評価損益
有価証券	21/9末	2,020	2,002	△ 17
	22/9末	1,604	1,625	21
金銭の信託	21/9末	—	—	—
	22/9末	—	—	—
デリバティブ等商品	21/9末	—	—	—
	22/9末	—	—	—

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
 時価は、各年の9月末日における市場価格等に基づいています。
 なお、金銭の信託及びデリバティブ等商品の取扱いはありません。

8. 地域貢献活動

(1) 地域貢献に関する経営方針

当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ために、持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同組織金融機関として組合員皆様の社会的・経済的地位の向上に役立つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めます。

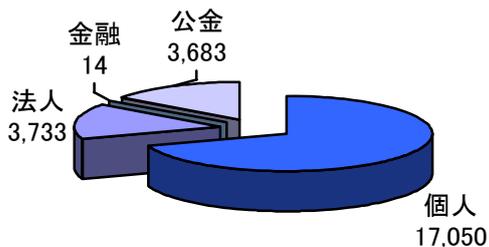
(2) 預金を通じた地域貢献

地域のお客様からお預りした大切な資金（預金積金、出資金）は、厳正かつ公正な審査に基づき、中小企業者や個人のお客様へ積極的にご融資し、お客様及び地域社会の健全な発展をお手伝いするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や個人のお客様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

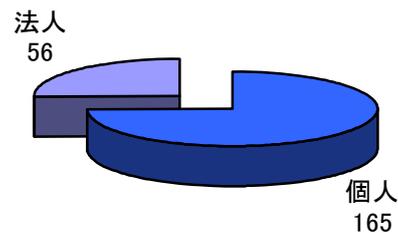
<“ますしん”と地域社会>

お客様／組合員

預金積金 24,480百万円



出資金 221百万円



島根益田信用組合 組訓「奉仕・繁栄・啓発」

1. 金融業務を通じて組合員をはじめ地域社会の健全な発展に奉仕します。
2. 地域住民の豊かな生活、中小企業者の安定的成長の中で、共に繁栄を目指します。
3. 健全経営を基盤に時代の変化に即応したうえで、地域社会の皆様から信頼されるよう常に啓発に努めます。

役職員数 52人

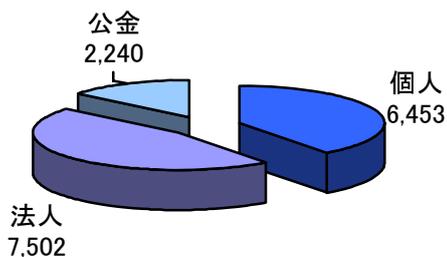
店舗数 6店舗

組合員数 7,930人

預金取引先数 19,508人

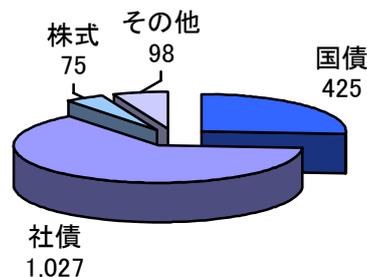
融資取引先数 7,538人

貸出金 16,195百万円



お客様／組合員

有価証券 1,625百万円



運用

(3) 融資を通じた地域貢献

当組合は「奉仕・繁栄・啓発」を組訓に掲げ、地域の事業者(勤労者)一人ひとりへの相互扶助の精神で、地元の協同組織金融機関として業務を通じて地域との永いお付き合いを大切にしながら、共に助け合い、金融サービスと円滑な資金供給に努めております。

①業種別貸出残高状況表

単位:百万円

業 種 別	総 貸 出					
	貸出先数		金 額			
	先数	構成比	設備資金	運転資金	合 計	
				金 額	構成比	
製 造 業	44	1.6%	14	728	743	4.6%
農 業	6	0.2%	47	48	96	0.6%
林 業	3	0.1%	11	66	77	0.5%
漁 業						
鉱 業						
建 設 業	137	4.8%	149	2,646	2,795	17.3%
電気、ガス、熱供給、水	4	0.1%	1	47	48	0.3%
情 報 通 信 業	3	0.1%	2	28	30	0.2%
運 輸 業	20	0.7%	88	285	374	2.3%
卸 売 ・ 小 売 業	149	5.3%	175	1,704	1,879	11.6%
金 融 、 保 険 業	2	0.1%		230	230	1.4%
不 動 産 業	23	0.8%	573	176	749	4.6%
各 種 サ ー ビ ス 業	207	7.3%	472	1,775	2,248	13.9%
そ の 他 の 産 業	2	0.1%	55	63	118	0.7%
地 方 公 共 団 体 等	3	0.1%	965	1,195	2,160	13.3%
個人(住宅・消費・納税資金等)	2,227	78.7%	2,640	2,001	4,641	28.7%
合 計	2,830	100.0%	5,199	10,995	16,195	100.0%

(単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。)

②島根県中小企業制度融資の取扱状況

単位:百万円

資 金 名 等		22年度上期 実績		22年9月末 残高	
		件数	実行額	件数	残高
一 般 融 資	一般設備資金 ※中小企業者等が施設・設備の改善を行う場合			11	57
	一般運転資金 ※中小企業者等が運転資金を必要とする場合			46	222
	小規模企業特別資金 ※小規模企業者が設備または運転資金を必要とする場合	3	10	50	111
	小規模企業育成資金 ※小規模企業者が設備または運転資金を必要とする場合			27	79
特 別 融 資	創業者支援資金 ※創業のための資金を必要とする場合	6	19	35	134
	構造転換支援資金 ※基盤強化のために既往借入金の借換資金を必要とする場合			8	140
	長期経営安定緊急資金 ※一時的な業況悪化で資金を必要とする場合			19	147

③緊急経済対策資金の取組状況

単位:百万円

資 金 名 等	22年度上期 実績		22年9月末 残高	
	件数	実行額	件数	残高
全国緊急「国」	1	8	14	219
全国緊急「県(資金繰り円滑化支援緊急資金)」	58	819	286	3,319

④個人向けローン商品の概要と実績

単位:百万円

種類	特色等	ご利用期間	ご融資金額	22年9月末 残高		
住宅	ますしん住宅ローン	マイホームの新築、増改築、 土地・住宅購入等	35年以内	3,000万円以内	2,040	
	住まいる応援団		10年以内	500万円以内	127	
	しんくみリフォームローン	マイホーム増改築			36	
	リフォーム応援団	マイホーム増改築等	15年以内	1,000万円以内	26	
車	新型マイカーローン	マイカー購入、車検、修理等	7年以内	500万円以内	74	
	しんくみカーライフローン				99	
教育	新型教育ローン	教育資金	14年以内	500万円以内	76	
	親心応援団	卒業後は多目的ローン			300万円以内	15
	進学応援団	教育資金			500万円以内	47
カード	ぼけっとカードローン	資金使途自由	3年更新	70万円以内	142	
	生活応援団				100万円以内	77
	おともだち				組合員限定カードローン	50万円以内
その他	しんくみ目的ローン	使途が証明できる費用	7年以内	500万円以内	4	
	ニューふれあいローン	資金使途自由	7年以内	500万円以内	42	
	しんくみフリーローン		5年以内	300万円以内	29	
	遊you(ゆうゆう)応援団		7年以内	200万円以内	10	
	クイック応援団		5年以内	99万円以内	5	
	シルバー応援団		5年以内	100万円以内	2	
	ますしんチョイス		7年以内	300万円以内	10	
	レディース応援団		7年以内	50万円以内	0	

(4)取引先への支援状況等

①経営改善支援等の取組み実績

単位:先数、%

期初債務者数(A)					経営改善 支援取組 み率 (α/A)	ランク アップ率 (β/α)	再生計画 策定率 (δ/α)
うち経営改善支援取組み先(α)							
		α のうち期末に 債務者区分がラ ンクアップした先 数(β)	α のうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数(γ)	α のうち再生 計画を策定し た先数(δ)			
382	12	1	11	12	3.14	8.33	100.00

- (注) 1. 本表の「債務者数」「先数」は、正常先を除く事業者の計数です。
 2. 期初債務者数は平成22年4月当初の債務者数です。
 3. 債務者数、経営改善支援取組み先数は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。
 4. 「 α のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β 」は、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先です。なお、経営改善取組み先で期中に完済した債務者は α には含みますが β には含んでおりません。
 5. 「 α のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ 」は、当期末の債務者区分が期初と変化しなかった先です。
 6. 「 α のうち再生計画を策定した先数 δ 」は、 α のうち中小企業再生支援協議会の再生計画策定先、RCCの支援決定先、当組合独自の再生計画策定先の合計先数です。
 7. 期中に新たに取引を開始した取引先は、本表に含みません。

②創業支援

当組合では外部関係機関等と連携し創業者の支援を行っており、22年度上期は6先 19百万円の創業資金に取組んでおります。

(5)個人保証に過度に依存しない融資の取組状況

単位:百万円

資金名等	22年度上期 実績		22年9月末 残高	
	件数	実行額	件数	残高
①動産・債権譲渡担保融資(ABLを含む)	0	0	2	79
②知的財産担保融資	0	0	0	0
③コベナンツを活用した融資	0	0	0	0
④スコアリングモデルを活用した融資等	0	0	0	0

(6) 地域サービスの充実

① 店舗・ATM等の設置数

店名	住所	電話	ATM
本店	〒698-0024 益田市駅前町14番23号	0856(22)3030	2台
浜田支店	〒697-0027 浜田市殿町83番216	0855(22)5354	1台
小野支店	〒699-3763 益田市戸田町イ610番1	0856(28)1050	1台
西益田支店	〒699-5132 益田市横田町233番12	0856(25)2011	1台
高津支店	〒698-0041 益田市高津6丁目15番30号	0856(23)1888	1台
あけぼの支店	〒698-0025 益田市あけぼの西町18番7	0856(23)1500	1台
ゆめタウン益田店 出張所	益田市高津 ゆめタウン益田店内	店舗外CD(共同)設置	1台
益田市役所 出張所	益田市常盤町 益田市役所内	店舗外CD(共同)設置	1台

※営業時間外や日曜日・祝日の場合のカード盗難・紛失時等における緊急連絡先

自動機集中監視センター(ボイスワープ) 0856-23-0886

平日・土曜日 17:00~22:00 ※営業時間内は上記営業店(土曜日は本店のみ)へご連絡下さい

日曜日・祝日 8:45~22:00

② 顧客の組織化(ますしん 友の会)とその活動状況

当組合で年金を受給されている皆様等で組織され、年1回の旅行を実施しております。

22年度(H22.10.13~H22.10.14) ~長崎から下関へ 龍馬の軌跡を辿る旅~



[如意輪寺]



[長崎まちなか龍馬館]



[長府博物館]

③ 苦情相談窓口の設置

当組合では、お客様からのご要望等にお応えするため各営業店の窓口「お客様相談受付窓口」を設置しております。

信用組合業務に関してお困りのことや当組合へのご意見、ご要望がございましたら、ご遠慮なくお申しつけ下さい。

(7) 文化的・社会的貢献に関する活動

○「小さな親切運動」参加

◆持石海岸(益田市)清掃活動



○「しんくみの日週間」実施

◆カーブミラーの清掃活動



◆献血運動



9. 金融円滑化に関する事項

当組合で事業資金のご融資をご利用いただいている中小企業者のお客さまが、不安定な経済情勢の影響等によりご返済が困難となった場合や、当組合で住宅ローン等をご利用いただいているお客さまが、勤務先の業績悪化等のご事情により収入が減少し返済が困難となった場合には、当組合の本部と各営業店の「金融円滑化相談等窓口」等において、返済方法の見直し等のお申込み・ご相談に適切な対応を行っております。

なお、平成22年5月に公表いたしました平成22年3月末までの中小企業金融円滑化法第4条・第5条に基づく措置の実施状況の集計に誤りがあることが判明致しましたので、下記のとおり平成22年3月末までの修正と併せて、平成22年9月末までの実施状況を公表致します。

第5 法第4条に基づく措置の実施状況

(別表1) 貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額
〔債務者が中小企業者である場合〕

(単位:百万円)

		平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年9月末	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額	修正前	17	163	66	506		
	修正後	21	192	84	595	172	1,310
	誤差	4	29	18	89		
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権の額	修正前	8	90	17	184		
	修正後	6	84	13	133	34	284
	誤差	△2	△6	△4	△51		
うち、実行に係る貸付債権の額	修正前	4	11	16	161		
	修正後	2	6	12	110	33	261
	誤差	△2	△5	△4	△51		
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権の額	修正前	0	0	0	0		
	修正後	0	0	0	0	0	0
	誤差	0	0	0	0		
うち、謝絶に係る貸付債権の額	修正前	0	0	1	22		
	修正後	0	0	1	23	1	23
	誤差	0	0	0	1		
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権の額	修正前	0	0	0	0		
	修正後	0	0	0	0	0	0
	誤差	0	0	0	0		
うち、審査中の貸付債権の額	修正前	4	79	0	0		
	修正後	4	78	0	0	0	0
	誤差	0	△1	0	0		
うち、取下げに係る貸付債権の額	修正前	0	0	0	0		
	修正後	0	0	0	0	0	0
	誤差	0	0	0	0		
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権の額	修正前	9	74	49	322		
	修正後	15	107	71	461	138	1,026
	誤差	6	33	22	139		
うち、実行に係る貸付債権の額	修正前	9	74	41	259		
	修正後	15	107	60	392	129	969
	誤差	6	33	19	133		
うち、謝絶に係る貸付債権の額	修正前	0	0	0	0		
	修正後	0	0	1	1	6	14
	誤差	0	0	1	1		
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権の額	修正前	0	0	0	0		
	修正後	0	0	0	0	0	0
	誤差	0	0	0	0		
うち、審査中の貸付債権の額	修正前	0	0	7	29		
	修正後	0	0	9	33	2	7
	誤差	0	0	2	4		
うち、取下げに係る貸付債権の額	修正前	0	0	1	34		
	修正後	0	0	1	34	1	34
	誤差	0	0	0	0		

第5 法第4条に基づく措置の実施状況

(別表3) 貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額

[債務者が中小企業者であって、当該中小企業に対し他の金融機関も貸付債権を有する場合]

(単位:百万円)

		平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年9月末	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権に係る債務者のうち他の金融機関に対しても法の施行日以後に貸付けの条件の変更等の申込みが行われたことを確認することができた者から、貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額	修正前	5	80	13	150		
	修正後	5	79	9	113	16	198
	誤差	0	△1	△4	△37		
うち、実行に係る貸付債権の額	修正前	1	1	12	127		
	修正後	1	1	8	90	15	175
	誤差	0	0	△4	△37		
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権の額	修正前	0	0	0	0		
	修正後	0	0	0	0	0	0
	誤差	0	0	0	0		
うち、謝絶に係る貸付債権の額	修正前	0	0	1	22		
	修正後	0	0	1	23	1	23
	誤差	0	0	0	1		
うち、他の金融機関により法の施行日以後になされた貸付けの条件の変更等の実行を確認していた場合の貸付債権の額	修正前	0	0	1	22		
	修正後	0	0	1	23	1	23
	誤差	0	0	0	1		
うち、審査中の貸付債権の額	修正前	4	79	0	0		
	修正後	4	78	0	0	0	0
	誤差	0	△1	0	0		
うち、取下げに係る貸付債権の額	修正前	0	0	0	0		
	修正後	0	0	0	0	0	0
	誤差	0	0	0	0		

第6 法第5条に基づく措置の実施状況

(別表7) 貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額

[債務者が住宅資金借入者である場合]

(単位:百万円)

		平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年9月末	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額	修正前	3	12	6	32		
	修正後	2	5	5	25	6	41
	誤差	△1	△7	△1	△7		
うち、実行に係る貸付債権の額	修正前	1	6	5	24		
	修正後	0	0	4	17	5	33
	誤差	△1	△6	△1	△7		
うち、謝絶に係る貸付債権の額	修正前	0	0	0	0		
	修正後	0	0	0	0	0	0
	誤差	0	0	0	0		
うち、審査中の貸付債権の額	修正前	2	6	0	0		
	修正後	2	5	0	0	0	0
	誤差	0	△1	0	0		
うち、取下げに係る貸付債権の額	修正前	0	0	1	8		
	修正後	0	0	1	8	1	8
	誤差	0	0	0	0		

おつきあい まごころで



島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町14番23号

TEL 0856-22-3030 FAX 0856-23-6250

E-mail masushin@beach.ocn.ne.jp

<http://shimanemasushin.com/index.php>